

第4回

炎症から読み解く 免疫・代謝研究の最前線



柴田 琢磨 先生

東京大学医科学研究所
老化再生生物学分野
准教授

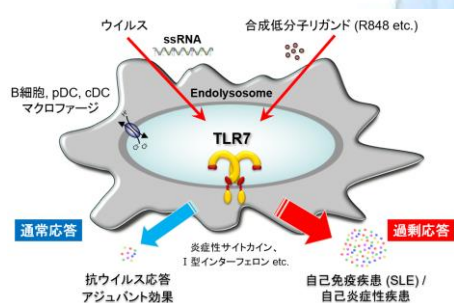


菅波 孝祥 先生

名古屋大学環境医学研究所
分子代謝医学分野
教授

免疫はなぜ暴走するのか？ 核酸認識センサーから考える ヒト疾患の発症機構

Toll-like receptor 7 (TLR7) をはじめとする核酸認識センサーはウイルス由来の核酸を感知することで免疫応答を誘導し、私たちの体を感染から守っています。一方で、これらセンサーの過剰活性化は自己免疫疾患や自己炎症性疾患などのヒト疾患につながることも明らかになってきました。本セミナーでは、核酸認識センサーの疾患における役割を解説するとともに、最近判ってきた「核酸代謝による核酸認識センサーの制御」という新たな視点を紹介したいと思います。



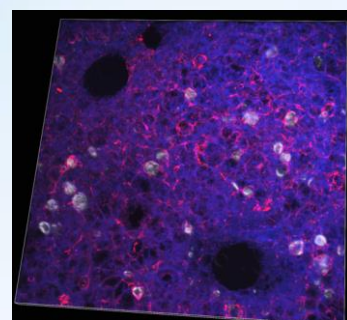
演題

代謝臓器の「組織再構築」から 捉える生活習慣病

従来、肥満や糖尿病などの生活習慣病は代謝疾患と捉えられてきましたが、近年、慢性炎症性疾患の一面を有することが明らかになりました。そこで、生活習慣病の病態を明らかにするためには、慢性炎症の本態である「組織再構築」を深く理解する必要があります。本セミナーでは、栄養環境の変化が代謝臓器の多種多様な細胞種にどのように影響し、組織が再構築されるかについて、我々の研究成果をご紹介します。

MASH肝における
コレステロール結晶と
マクロファージ

赤：マクロファージ
青：DAPI (核)
白：コレステロール結晶 (微分干涉)



日時

3/10 (火) 16:00-17:30

形式

ZOOM

費用

無料

お申込み

<https://go.healthcare.nikon.com/l/924973/2025-12-24/2zn7dm>



QRコードから
お申込み